

# 令和元年度 事業報告



あなたの手となり、  
ぬくもりとなり。

その手は、あなたの手だ。  
そのまなざしは、あなたのまなざしだ。  
そのぬくもりは、あなたのぬくもりだ。  
支援してくださるあなたの、手となり、目となり、ぬくもりとなり。  
私たちは、そこに行く。  
医師が、看護師が、ボランティアが、そこで活動する。  
私たちは、あなたの支障で動いている。  
そう。支障してくださる、あなたも赤十字の仲間です。

寄付するあなたも赤十字です  
<http://www.jrc.or.jp/>

赤十字 寄付



救うを託されている。→

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。 赤十字運動月間 5.1(月)～31(日)



日本赤十字社  
JAPANESE RED CROSS SOCIETY



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

愛媛県支部

# 国際赤十字・赤新月運動の基本原則

1965 年(昭和 40 年)にウィーンで開催された第 20 回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言された。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものである。

## 人 道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、「赤十字・赤新月」という。)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

## 公 平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

## 中 立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

## 独 立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たなければならない。

## 奉 仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

## 単 一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

## 世 界 性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

## は じ め に

日頃から赤十字事業の推進につきまして、関係者各位をはじめ、多くの県民の皆様から多大なるご支援とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

新しい時代「令和」の幕開けとなった去年は、日赤にとって、新名誉総裁となられた皇后陛下をお迎えするという節目の年でしたが、その一方で、度重なる災害によって広範囲で甚大な被害が生じた年でもありました。特に、台風 19 号では河川の氾濫によって多くの方々が平穏な暮らしを脅かされ、農業への被害なども大きなものとなりました。

この災害において、日赤は延べ 800 人を超える医療救護班を派遣し、各地に支援物資をお届けしましたが、災害発生直後から開始された赤十字奉仕団による献身的な活動も、被災各地で力強く展開されました。

そして本年、新型コロナウイルス感染症が、国内はもとより世界的に深刻な問題となっておりますが、日赤では、その発生初期から、クルーズ船への医療チームの派遣などに始まり、現在も日赤病院での患者、感染者の受け入れ、一般市民への情報発信などに全力を尽くしております。国民挙げての取り組みにより、一日も早くこの困難な事態が終息することを祈りたいと思います。

これらに加え、時代の変化はますます加速し、それに伴い、私たちが取り組むべき課題もさらに広がりを見せています。近年、自然災害が激甚化・頻発化し、発災のたびに新たな課題が浮き彫りになり、より柔軟で、被災者のニーズに即した多様な支援が求められていますが、そのためには、柔軟な発想に立って考え、果敢に対応する姿勢が求められていると思います。私たちは、日赤の活動に対する多くの方々の期待と信頼に応えることができるよう、引き続き、たゆまぬ努力を続けてまいります。

ここに、令和元年度の事業報告にあたり、関係各位にあらためて感謝の意を表するとともに、引き続きなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和 2 年 5 月

日本赤十字社愛媛県支部

# 目 次

1. 評議員会・監査	1
2. 社業振興	1
活動資金募集実績額、社業振興に伴う会議・研修会、赤十字思想の普及、 愛媛県赤十字有功会の活動、赤十字事業支援自動販売機設置の促進	
3. 災害救護事業	4
救護資器材の整備、災害救護体制、救護員の派遣、救護員の訓練、救護員研修会、 地区分区担当者及び防災ボランティア災害対応研修会 災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金、救援金等募集活動、臨時救護	
4. 日本赤十字社防災教育事業	9
5. 赤十字各種講習	9
ワールドファーストエイドデー、救急法、健康生活支援講習、 幼児安全法、水上安全法	
6. 赤十字奉仕団	20
結成状況、事業概要	
7. 青少年赤十字	23
加盟状況、事業概要	
8. 保健福祉事業	27
赤十字巡回健康講座、ひだまり赤十字、ぬくもり子育て広場、 手つなぎ防災ひろば、赤十字健康大学	
9. 国際活動	32
10. 医療事業	33
11. 血液事業	34
12. 役員	35

## 1. 評議員会・監査

### (1) 平成 30 年度会計監査・業務監査(6 月 6 日)

監査委員による、愛媛県支部及び松山赤十字病院の平成 30 年度会計監査並びに愛媛県赤十字血液センターの平成 30 年度業務監査を、松山赤十字病院において実施し、いずれも適正に処理されているとの監査結果でありました。

- ① 平成 30 年度一般会計歳入歳出決算について
- ② 平成 30 年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- ③ 平成 30 年度血液事業報告について

### (2) 令和元年度第 1 回評議員会(6 月 11 日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第 1 号議案 平成 30 年度一般会計歳入歳出決算について
- 第 2 号議案 平成 30 年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第 3 号議案 平成 30 年度血液事業報告について

### (3) 令和元年度第 2 回評議員会(2 月 4 日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第 1 号議案 令和 2 年度一般会計歳入歳出予算(案)について
- 第 2 号議案 令和 2 年度医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
- 第 3 号議案 令和 2 年度血液事業計画(案)について

## 2. 社業振興

日本赤十字社は、会員等の支援者から拠出される活動資金によって、国内災害救護事業等のさまざまな事業を実施しており、その活動資金の募集は、主に町内会、奉仕団、法人、個人寄付者の皆さまのご協力によって支えられています。

令和元年度は、活動資金の安定的確保を図るため、法人への勧奨強化、戸別訪問やダイレクトメールによる募集、寄付金付自動販売機設置の提案などを積極的に実施しました。

その結果、令和元年度は、195,617,526 円のご協力を支部にいただきました。少子高齢化や地域コミュニティの希薄化は活動資金にも影響し、年々活動資金は減少傾向にあります。今後は企業とのタイアップ事業や、各種セミナーの開催など促進に努めてまいります。

活動資金募集に関する状況は、次のとおりであります。

### (1) 活動資金募集実績額

市町名		目標額 (円)	実 績 額 (円)			対目標額(円)	達成率 (%)
			地区区分募集分	本社口座振替分	計		
市	松 山 市	66,170,000	47,632,004	1,764,000	49,396,004	△16,773,996	74.7

	今 治 市	22,577,000	23,283,565	712,000	23,995,565	1,418,565	106.3
	宇和島市	11,202,000	9,174,246	82,000	9,256,246	△1,945,754	82.6
	八幡浜市	5,341,000	4,970,214	98,000	5,068,214	△272,786	94.9
	新居浜市	16,504,000	11,388,905	213,000	11,601,905	△4,902,095	70.3
	西 条 市	15,829,000	13,053,892	83,000	13,136,892	△2,692,108	83.0
	大 洲 市	6,594,000	5,645,025	30,000	5,675,025	△918,975	86.1
	伊 予 市	5,630,000	4,694,535	74,000	4,768,535	△861,465	84.7
	四国中央市	12,474,000	13,089,847	105,000	13,194,847	720,847	105.8
	西 予 市	6,073,000	5,459,112	12,000	5,471,112	△601,888	90.1
	東 温 市	4,839,000	4,125,475	36,000	4,161,475	△677,525	86.0
	小計	173,233,000	142,516,820	3,209,000	145,725,820	△27,507,180	84.1
町	上 島 町	983,000	1,180,000	60,000	1,240,000	257,000	126.1
	久万高原町	1,369,000	1,360,300	17,000	1,377,300	8,300	100.3
	松 前 町	4,280,000	4,332,940	24,000	4,356,940	76,940	101.8
	砥 部 町	3,162,000	2,544,783	62,000	2,606,783	△555,217	82.4
	内 子 町	2,680,000	2,714,201	31,000	2,745,201	65,201	102.4
	伊 方 町	1,600,000	1,945,716	0	1,945,716	345,716	121.6
	松 野 町	559,000	605,500	0	605,500	46,500	108.3
	鬼 北 町	1,620,000	1,434,873	0	1,434,873	△185,127	88.6
	愛 南 町	3,316,000	2,972,000	0	2,972,000	△344,000	89.6
	小計	19,569,000	19,090,313	194,000	19,284,313	△284,687	98.5
支 部	一 般	9,000,000	—	—	22,710,393	—	—
	ダイレクトメール	—	—	—	7,897,000	—	—
	小計	9,000,000	—	—	30,607,393	—	—
県合計		201,802,000	161,607,133	3,403,000	195,617,526	△6,184,474	96.9

(※病院への使途指定寄付金は除く。)

## (2) 社業振興に伴う会議・研修会

会議・研修会名	開催日・会場	議題及び研修内容
地区分区職員研修会	4月25日 日本赤十字社 愛媛県支部	1. 平成31年度支部事業計画について 2. 活動資金募集について ・平成30年度社資募集実績について ・活動資金募集に伴う事務処理等について ・地区分区交付金について 3. 各種事業について
地区・分区長並びに 地区・分区主管課長合同会議	1月23日 日本赤十字社 愛媛県支部	1. 令和元年度活動資金募集等について 2. 令和2年度活動資金募集目標額(案)について 3. 令和2年度支部事業計画(案)について 4. 地区分区における赤十字事業について

### (3) 赤十字思想の普及

社業の進展は、県民の理解と協力によって支えられており、情報機関への赤十字思想普及及び協力要請を図るとともに、赤十字運動月間中には、松山市役所別館、松山市社会福祉協議会に懸垂幕を掲示したほか、市内バスの車内放送を行い、赤十字活動資金への協力要請を実施しました。

そのほか、年間を通じて、次のような機関誌、印刷物等により赤十字思想の普及に努めました。

①機関誌・・・赤十字新聞(毎月発行)	1,200部(5月と12月は1,000部追加)
②印刷物・・・ポスター(赤十字運動用)	2,000枚
リーフレット	10,000枚
広報用チラシ	378,315枚

### (4) 愛媛県赤十字有功会の活動

愛媛県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章を受章された方々で組織され、赤十字の人道的任務を支援し、赤十字事業の伸展に寄与することを目的に活動しています。

令和元年度は、赤十字奉仕団（ボランティア）活動資機材整備に対し助成を行いました。

令和2年3月末現在の会員数は、個人65名、法人111社、計176会員です。



### (5) 企業様のCSR活動のお手伝い

愛媛県支部は、企業様の社会貢献活動の一環として、「赤十字寄付金付自動販売機」や「募金箱の設置」「赤十字支援マーク」の促進を行っています。

気軽にできる社会貢献活動として、多くの企業様からご活用いただいております。

※令和2年3月末の県内の「赤十字寄付金付自動販売機」の設置数は95台です。





### 3. 災害救護事業

災害救護業務は、赤十字の性格と使命上最も重要な事業の一つであります。

このことは、日本赤十字社法(昭和 27 年法律第 305 号)にも明示され、かつ災害救助法(昭和 22 年法律第 118 号)において、国または都道府県知事の行う救助業務に協力するよう義務付けられ、さらに災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号 9 により、指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を負っています。

令和元年度も、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が多発しました。当支部でも災害に備え、資器材の整備を行うほか、研修会や訓練の実施・参加をしました

#### (1) 救護資器材の整備

当支部は、円滑な救護活動を展開するため、下記救護資器材の更新整備を行いました。

災害救護用無線基地局 (150MHz 帯)	1 式
・ 災害救護用車載型無線機 (150MHz 帯)	2 式
・ 災害救護用携帯型無線機 (400MHz 帯)	2 式
・ 災害救護用固定用無線機 (150MHz 帯)	1 式
・ 災害救護用固定用無線機 (400MHz 帯)	1 式

#### (3) 災害救護体制

「日本赤十字社愛媛県支部防災計画」に基づき、災害が発生した場合、その規模等に応じて、前述のとおり被災地に救護班を派遣し、被災者の医療救護に当たります。当支部では、支部及び松山赤十字病院、愛媛県赤十字血液センターの救護員からなる災害対策本部要員、血液供給要員(2 班)、常備救護班要員(8 班)を次のとおり編成し、救護体制をとっています。

なお、現場の状況に応じて、愛媛県安全赤十字奉仕団、愛媛県アマチュア無線赤十字奉仕団等特殊奉仕団及び防災ボランティアの応援協力を受けることとしています。

- ① 日本赤十字社愛媛県支部災害対策本部要員 11 名
- ② 日本赤十字社愛媛県支部常備救護班 48 名  
(医師 8 名・看護師長 8 名・看護師 16 名・主事 16 名)
- ③ 日本赤十字社愛媛県支部血液供給要員 4 名





#### (4) 救護員の訓練

##### ①重信川総合水防演習

- ・開催日 5月10日(日)
- ・開催会場 松山自動車道重信川橋下流右岸河川
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部2名
- ・種 目 超大型台風の石器による重信川増水を想定した救護訓練

##### ②愛媛県総合防災訓練

- ・開催日 10月19日(土)
- ・開催会場 鬼北総合公園多目的広場
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部2名
- ・種 目 土砂災害と地震の複合災害を想定した救護訓練

##### ③日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練

- ・開催日 11月9日(土)・10日(日)
- ・開催会場 鳥取県鳥取市及び鳥取赤十字病院
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部4名
- ・種 目 吉岡鹿野断層(鳥取県東部)を震源とする地震を想定した救護訓練

##### ④松山市総合防災訓練

- ・開催日 11月10日(日)
- ・開催会場 松山市立窪田小学校
- ・参加者 救護班一個班6名
- ・種 目 南海トラフを震源とした巨大地震を想定した救護訓練

##### ⑤地震・津波防災訓練

- ・開催日 11月24日(日)
- ・開催会場 西予市三瓶町 旧周木小学校
- ・参加者 看護師1名及び支部1名
- ・種 目 津波被害を想定した救護所運営アドバイザー

##### ⑥中予地区消防長会合同訓練

- ・開催日 2月20日(木)
- ・開催会場 JR四国旅客鉄道貨物基地ターミナル
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部1名
- ・種 目 列車事故を想定した救護訓練



## (5) 救護員研修会

日本赤十字社における救護活動の位置づけ及び赤十字救護員の役割を認識し、今後の赤十字救護活動が迅速に遂行できるよう、共通認識を図るとともに、災害発生時における救護体制の確立を図ることを目的として、松山赤十字病院と協力し、次のとおり開催しました。

### ○開催日及び受講者数

9月14日(土)	8:30~17:00	58名
10月12日(土)	8:30~17:00	50名
12月21日(土)	9:00~17:00	33名

### ○開催会場及び内容

- ・開催会場 日本赤十字社愛媛県支部
- ・内 容 「災害サイクルに応じた救護活動」  
「西日本豪雨災害」  
「療救活動における通信・情報伝達・記録」  
「通信機器の取り扱い(実技)」  
「トリアージについて(座学)」  
「START法による一次トリアージ(実技)」  
「PAT(デモンストレーション)」  
「トリアージタグの書き方(講義・実技)」  
「こころのケア(救護者自身のストレス対処)」  
「出動シミュレーション」  
「医療資器材の取り扱い(担架・簡易ベッド等)」  
「救護所内活動(屋内演習)」



## (6) 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会

赤十字救護班要員等が、放射線環境下での救護活動に安全かつ安心して従事できるよう放射線や原子力災害医療体制等にかかる基本的知識及び放射線防護資機材の使用方法を習得することを目的として、次のとおり開催しました。

なお、本研修会は日本赤十字社各ブロック持ち回りで開催しているもので、中国・四国ブロックでは、平成29年度の島根県に次ぐ、2県目の開催県となっています。

- ・開催日 11月28日(木)・29日(金)
- ・開催会場 松山赤十字病院多目的ホール
- ・参加人数 44名

- ・内 容 「日本赤十字社の原子力災害への取り組み」
- 「救護活動における放射線の基礎知識」
- 「原子力災害時の救護活動における安全確保のために」
- 「放射線防護資機材について」
- 「原子力災害時の救護活動と原子力災害医療アドバイザーとの協働」
- 「原子力災害時における被災者とのコミュニケーション」
- 「サーベイメータ・個人被ばく線量計の保守方法と使用方法」
- 「原子力災害対策指針における基本的枠組み」
- 「原子力災害に備えた広域避難計画」
- 「グループワーク」



#### (7) 赤十字防災ボランティア研修会（令和元年度は中止）

災害時に赤十字が実施する医療救護活動、救援物資の配布、情報収集や伝達、安否確認等の救護活動を側面から支援をする、愛媛県支部に登録しています赤十字防災ボランティアの方の、災害時における知識等の育成を目的に実施しています。

なお、令和元年度は次のとおり開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

- ・開催予定日 3月7日
- ・予定会場 日本赤十字社愛媛県支部
- ・予定内容 「災害時のNP0・ボランティアとの連携・共働について」
- 「日本赤十字社防災教育プログラム」
- 「災害時における資材搬出体験」
- 「災害時にも役立つ応急処置」

#### (8) 臨時救護

西日本最高峰の石鎚山お山開きや、多数の人々が集まって行われる行事等などにおいて、臨時救護所を開設し看護師等を派遣しました。平成30年度は、7月豪雨ため石鎚山お山開き臨時救護は1班だけの派遣となりましたが、昨年度は予定通り3班の派遣を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

行 事 名	派遣日	日数	派遣救護員延人数			取扱 患者	備考
			看護師	主事	ボランティア		
愛媛県護国神社春季慰霊大祭	4月10日	1	1	0	18	0	
石鎚山お山開き	7月1日～7月4日	4	12	0	0	9	成就社
	7月3日～7月6日	4	16	14	0	14	土小屋
	7月6日～7月9日	4	12	0	0	28	成就社
松山まつり	8月9日～11日	3	3	0	0	8	
愛媛県護国神社秋季慰霊大祭	10月10日	1	1	0	0	0	
N P B ガールズトーナメント	8月2日～8日 11会場	7	11	0	0	8	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	10月20日・26日 11月2日	3	3	0	0	0	
愛媛県人権・同和教育研究大会	11月7日	1	1	0	0	0	
合 計		28	60	14	18	67	

#### (8) 災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金

災害救護物資については、災害により、住家の全焼・全壊・流失等の被害を受けた場合、毛布を原則として被災者1人に1枚、緊急セットを原則として被災世帯1世帯に1個配布しました。

また、災害見舞金については、自然災害により住家が全焼・全壊・流失した世帯に対し、1世帯につき見舞金20,000円を贈呈し、災害死亡者弔慰金については、住家の自然災害及び火災に起因する損壊(床上浸水・床下浸水含む)により死亡した場合、1名につき弔慰金20,000円を贈呈しました。※災害見舞金及び災害死亡者弔慰金の贈呈については県内に災害救助法(昭和22年10月18日付法律第118号)が適応された場合は適応除外となります。

贈呈状況は次のとおりであります。

市町名	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット	タオルケット	弔慰金(円)
松山市	2	2			40,000
今治市	20	10			40,000
宇和島市	9	5			40,000
新居浜市	10	7			
西条市	14	6			
大洲市	0	0			20,000
四国中央市	9	5			
東温市	3	2			20,000

松前町	2	0			
合 計	69	37	0	0	160,000

## 4. 日本赤十字社防災教育事業

日本赤十字社は、全国各支部において「日本赤十字社防災事業」を展開しています。本事業は、過去の災害の教訓を生かし、将来発生が予測されます大規模災害から、人々のいのちを守るために、地域コミュニティにおけます「自助」「共助」の知識等を高めるために地域住民や、赤十字奉仕団を対象とした、日本赤十字社防災教育事業を実施しています。

実施状況は次のとおりであります。

	開催日	場 所	参加者数
1	7 月 9 日	新居浜市金栄公民館	56
2	9 月 2 日	日本赤十字社愛媛県支部	31
3	10 月 16 日	新居浜工業高等学校	580
4	11 月 23 日	伯方農村環境改善センター	80
5	2 月 17 日	今治市中央公民館	55
6	2 月 28 日	新居浜市立東中学校	109
合 計			911

なお、日本赤十字社防災教育事業のほか、愛媛県支部独自の内容で実施する防災講座も 22 回開催しており、1,443 名の受講がありました。

## 5. 赤十字各種講習

救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法等の各種講習を赤十字基本原則である「人道」を具現化する重点事業として推進しており、日本赤十字社愛媛県支部救護装備・救援物資保管倉庫講習会場で定期開催をするほか、ボランティア指導員等の協力を得て県下各地においても開催いたしました。

### (1) ワールドファーストエイドデー

救急法等講習や救護活動、ボランティア活動等を多くの人に知ってもらい、併せて赤十字をより身近に感じてもらうことを目的として、安全赤十字奉仕団の協力のもと、ワールドファーストエイドデーを開催しました。

- ・開 催 日     9 月 8 日（日）
- ・開催会場     伊予郡松前町「エミフル MASAKI」
- ・内        容     成人及び乳幼児に対する A E D を使用した心肺蘇生の仕方、応急手当



血圧測定・体脂肪測定コーナー

赤十字事業展示コーナー(救護活動写真・救護資器材・救援物資)

子ども救護服を着用し記念撮影コーナー



## (2) みんなDE防災トライアル

災害に対する自助・共助の意識向上を図るため、家庭や地域で日頃から備えておくべきことなどの防災講座及び非常炊き出し、応急手当等を実際に体験することにより「自助」の重要性を理解することを目的で開催しました。

- ・開催日 8月17日(土)
- ・開催会場 日本赤十字社愛媛県支部
- ・参加人数 18名
- ・内容 講義「災害に備えて」  
実習「応急手当・搬送」  
体験「家庭でできる炊き出し」  
体験「避難所体験」(段ボールベッド組立等)  
体験「愛媛県支部災害救護装備・救援物資保管倉庫見学」  
講義・実習「災害時高齢者生活支援講習」  
講義・実習「災害時乳幼児生活支援講習」



## (3) 救急法

日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害でけがをした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や自動体外式除細動器(AED)の使用法及び応急手当の普及に努めました。



### ①基礎講習

	開催日	場 所	受講者数
1	5月14日・15日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	7
2	6月20日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	24
3	6月24日	大洲地区広域消防事務組合 内子消防署	5
4	8月9日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	29
5	8月17日	住友化学研修所	15
6	9月3日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	26
7	9月10日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	26
8	9月28日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	28
9	11月7日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	18
10	12月4日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	8
11	1月18日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	14
12	2月11日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	35
	3月4日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	中止
合 計			235

### ②救急員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
1	5月21日・22日・23日・ 24日 ( 4日間 )	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	3
2	8月22日・23日 ( 2日間 )	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	17
3	8月24日・25日 ( 2日間 )	住友化学研修所	15
4	9月4日～9月6日 ( 3日間 )	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	26



5	9月11日～13日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	26
6	10月29日～31日 (3日間)	ウェルピア伊予	35
7	11月2日・3日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	19
8	11月13日・14日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	17
9	12月11日・12日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	16
10	2月29日・3月1日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	30
合 計			204

### ③短期講習

	開催日	場 所	受講者数
1	4月3日	愛媛パールズ体操スクール余戸教室 (松山市)	9
2	4月7日	松山市西側集会所	59
3	4月23日	福浦公民館 (愛南町)	12
4	4月25日	グループホームすみれの家 (松山市)	16
5	5月9日	松山市総合コミュニティセンター サブアリーナ	25
6	5月10日	新居浜市山根総合体育館	72
7	5月10日	新居浜市山根総合体育館	74
8	5月13日	松山市北条社会福祉センター	58
9	5月14日	愛媛県立松山商業高等学校	45
10	5月16日	伊方スポーツセンター	30
11	5月17日	愛媛県立宇和島南中等教育学校	60
12	5月17日	松山市小野支所	44
13	5月21日	愛媛大学附属高等学校	30
14	5月22日	愛媛大学附属高等学校	120
15	5月27日	愛光学園	60
16	5月29日	愛媛大学教育学部附属小学校	26
17	6月2日	テクスポート今治	24
18	6月3日	松山市立雄新中学校	102
19	6月3日	松山市立雄新中学校	135
20	6月4日	松山市立雄新中学校	120
21	6月4日	松山市立雄新中学校	143
22	6月7日	聖カタリナ大学 北条キャンパス	59
23	6月9日	惣開公民館 (新居浜市)	20

24	6月11日	松山市立東雲小学校	68
25	6月11日	松山市立八坂小学校	13
26	6月11日	南宇和郡教育会館 (愛南町)	14
27	6月12日	新居浜公民館	15
28	6月17日	松山大学	50
29	6月17日	松山市立湯山小学校	19
30	6月19日	松山市立伊台小学校	25
31	6月20日	愛南町立長月小学校	47
32	6月21日	松山市立久枝小学校	40
33	6月27日	松山東雲中学校・高等学校	40
34	6月27日	松山市立南中学校	45
35	6月28日	愛媛県立松山商業高等学校	45
36	6月28日	愛媛県立北条高等学校	27
37	6月30日	松野町立松野中学校	86
38	7月1日	松山大学	50
39	7月3日	愛媛県立松山南高等学校	70
40	7月4日	愛媛森林管理署 (松山市)	55
41	7月5日	八幡浜市中央公民館 保内別館	18
42	7月10日	伊方町立三机小学校	20
43	7月10日	松山市立南中学校	112
44	7月10日	松山市立南中学校	114
45	7月11日	松山市立南中学校	99
46	7月11日	松山市立南中学校	100
47	7月12日	松山市立南中学校	93
48	7月12日	松山市立南中学校	94
49	7月12日	伊方町立三崎小学校	50
50	7月16日	愛媛県立北条高等学校	46
51	7月17日	住鋤物流株式会社	30
52	7月18日	住鋤物流株式会社	30
53	8月1日	愛媛県生涯学習センター (松山市)	52
54	8月10日	宇和島市立吉田中学校周辺	52
55	8月17日	日本赤十字社愛媛県支部	18
56	8月18日	伊予市メディアケアたちばな	45
57	8月21日	今治市常盤公民館	45
58	8月21日	愛媛大学教育学部附属中学校	24
59	8月23日	愛媛県立松山中央高等学校	54
60	8月28日	松山城南高等学校 看護棟	50
61	9月4日	松前町立松前小学校	70
62	9月4日	松前町立松前小学校	70

63	9月5日	松前町立松前小学校	65
64	9月5日	松前町立松前小学校	65
65	9月8日	エミフルMASAKI	253
66	9月18日	東温市立北吉井小学校	73
67	9月18日	松山大学	37
68	9月19日	松山大学	36
69	9月25日	愛媛県立松山南高等学校	64
70	9月26日	砥部町老人福祉センター	20
71	9月29日	鬼北町立愛治小学校	119
72	10月5日	道の駅津島やすらぎの里 大ホール (宇和島市)	71
73	10月7日	今治市立吉海小学校	51
74	10月10日	四国中央市立三島東中学校 (四国中央市)	41
75	10月15日	社会福祉法人慈光会ていれぎ荘 (松山市)	30
76	10月23日	愛媛県生涯学習センター (松山市)	21
77	10月24日	愛媛県生涯学習センター (松山市)	22
78	10月25日	今治市立日高小学校	78
79	11月5日	四国中央市松柏公民館	62
80	11月25日	伊方町立九町小学校	73
81	12月3日	四国中央市立寒川小学校	81
82	12月5日	愛媛県身体障害者福祉センター (松山市)	7
83	12月9日	四国中央市立三島小学校	69
84	12月18日	松山市総合コミュニティセンター	56
85	12月19日	愛媛県総合社会福祉会館 (松山市)	46
86	12月19日	四国中央市上分小学校	64
87	12月23日	愛媛県県警本部	20
88	12月24日	愛媛県県警本部	20
89	1月8日	愛媛大学医学部看護学科棟 (東温市)	45
90	1月20日	久万高原町立面河小学校	4
91	1月24日	松山城南高等学校	86
92	2月2日	愛媛県立中央病院	30
93	2月11日	ウェルピア伊予	200
94	2月14日	松山城南高等学校	107
95	2月19日	松山看護専門学校	31
96	2月20日	日本たばこ産業(株) 松山営業所	34
97	2月22日	参川福祉館 (内子町)	14
98	2月27日	新居浜公民館	18
99	2月28日	新居浜公民館	20
100	2月28日	うみらいく愛南	14
	3月2日	新居浜公民館	中止

	3月3日	新居浜公民館	中止
	3月21日	カーブス枝松 (松山市)	中止
合 計			5,485

#### (4) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助方法や応急手当の知識と技術の普及に努めました。



##### ① 救助員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
1	7月13日～16日 (3日及び4日間)	松山大学御幸キャンパスプール 日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	14
2	7月23日・24日 (2日間)	伊予市五色浜海水浴場	5
合 計			19

##### ② 短期講習

	開催日	場 所	受講者数
1	5月9日	松山市総合コミュニティセンタープール	25
2	5月10日	新居浜市山根公園屋内プール	74
3	5月10日	新居浜市山根公園屋内プール	72
4	5月16日	伊方スポーツセンター (プール)	30
5	5月23日	松山市総合コミュニティセンタープール	37
6	5月23日	松山市総合コミュニティセンタープール	34
7	6月19日	東温市立北吉井小学校プール	82
8	7月17日	ウェルピア伊予プール	120
合 計			474

## (5) 健康生活支援講習

病気や障害等があっても、その人のできることを最大限に活かし、人としての尊厳を保ちながら、健やかな老齢期を過ごすために健康の増進、病気の予防及び高齢者が自立した生活ができるよう介護の知識や技術の普及に努めました。



### ① 支援員養成講習

	期 日	場 所	受講者数
1	8月28日～30日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	7
2	12月1・7・8日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	16
3	2月19日～21日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	21
4	3月2日～6日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	18 2日目～中止
合 計			62

### ② 短期講習

	月 日	場 所	受講者数
1	4月12日	伊方町民会館	23
2	5月10日	今治市中央公民館	327
3	5月20日	大洲市南久米公民館	19
4	6月24日	八幡浜市J A日土出張所	26
5	6月25日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	15
6	6月26日	八幡浜市川上地区公民館	39
7	7月1日	宇和島市総合福祉センター	44
8	7月9日	新居浜市金栄公民館	56
9	7月12日	大島開発総合センター (八幡浜市)	20
10	7月17日	大洲市肱北公民館	40

11	7月20日	大洲市総合福祉センター	13
12	7月25日	愛媛県立新居浜南高等学校	22
13	7月31日	愛媛県警察学校 (松前町)	76
14	8月5日	桑松山市原公民館 三町分館	18
15	8月5日	J A 愛媛 (松山市)	20
16	8月6日	五十崎自治センター (内子町)	40
17	8月7日	八幡浜市江戸岡地区公民館	55
18	8月17日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	18
19	8月20日	松山市祓川集会所	21
20	8月21日	今治市菊間公民館	34
21	8月22日	愛媛県在宅介護研修センター (松山市)	35
22	9月4日	瀬戸町民センター (伊方町)	42
23	9月6日	東温市中央公民館	18
24	9月8日	エミフルMASAKI (松前町)	166
25	9月9日	松山市雄郡公民館 泉町分館	21
26	9月17日	松山市雄郡公民館 土居田分館	35
27	9月24日	修明館 (松山市)	10
28	9月26日	大洲市肱北公民館	22
29	9月30日	西条市総合福祉センター	63
30	10月5日	松山赤十字病院	17
31	10月17日	東温市農村環境改善センター	40
32	10月21日	今治市宮窪公民館	37
33	10月24日	八幡浜市双岩地区公民館	16
34	10月26日	内子町寺村自治会館	37
35	11月6日	松山市美浜公民館	14
36	11月12日	松山市浮穴公民館	52
37	11月19日	松山市石風呂町集会所	50
38	11月22日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	18
39	12月3日	松山市久枝公民館	12
40	1月10日	エミフルMASAKI (松前町)	30
41	1月30日	今治市大三島保健センター	24
42	2月14日	愛南町一本松山村開発センター	40
43	2月21日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	21
44	2月25日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	16
	3月6日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	中止
	3月8日	松山市西側集会所	中止
	3月9日	八幡浜市宮内地区公民館	中止
	3月25日	伊予市生涯研修センター さざなみ館	中止



合 計	1762
-----	------

### ③ 指導員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
1	2月1日・2日・ 8日・9日・23日 (5日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	8
合 計			8

### (6) 幼児安全法

少子高齢の時代に即応し、こどもを社会全体で大切に育てるために、こどもに起こりやすい事故の応急手当と予防、こどもの病気に対する看病の仕方の普及に努めました。



### ① 支援員養成講習

	期 日	場 所	受講者数
1	7月10日～11日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	12
	9月18日～20日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	希望者少なく 中止
2	11月17日～24日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	4
3	1月25日～26日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	21
4	2月26日～28日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	32
	3月9日～11日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	肺炎拡大防止 中止



合 計	69
-----	----

② 短期講習

	月 日	場 所	受講者数
1	4 月 19 日	テクスポート今治	110
2	4 月 23 日	福浦公民館 (愛南町)	13
3	5 月 20 日	道後聖母幼稚園 (松山市)	77
4	5 月 29 日	砥部町保健センター	9
5	6 月 2 日	テクスポート今治	202
6	6 月 14 日	子育て支援センターゆめぼっけ (鬼北町)	17
7	6 月 18 日	東温市中央公民館	23
8	6 月 19 日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	32
9	6 月 25 日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	15
10	7 月 29 日	松前町総合福祉センター	10
11	8 月 10 日	宇和島市立吉田中学校	52
12	8 月 17 日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	18
13	8 月 24 日	DCMダイキ 美沢店	62
14	8 月 25 日	松山市総合コミュニティセンター	7
15	9 月 8 日	エミフルMASAKI (松前町)	253
16	9 月 18 日	東温市立北吉井小学校	73
17	9 月 25 日	愛媛県男女共同参画センター (松山市)	6
18	9 月 26 日	砥部町老人福祉センター	20
19	9 月 29 日	愛治公民館 (鬼北町)	119
20	10 月 7 日	今治市立吉海小学校	51
21	10 月 8 日	松丸保育園 松野町子育て支援センター (松野町)	29
22	10 月 10 日	四国中央市立三島東中学校	41
23	10 月 24 日	すしまる (松山市)	37
24	10 月 25 日	今治市立日高小学校	78
25	10 月 26 日	新居浜市あかがねミュージアム	150
26	11 月 5 日	四国中央市松柏公民館	62
27	11 月 14 日	今治市大三島保健センター	17
28	11 月 14 日	四国中央市みしま児童センター	36
29	11 月 18 日	西条市めぐみ保育園	20
30	11 月 21 日	松山市雄郡公民館	14
31	11 月 22 日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	18

32	11月25日	伊方町九町小学校	73
33	12月4日	松前町総合福祉センター	20
34	12月9日	四国中央市三島小学校	69
35	12月18日	松山市総合コミュニティセンター	20
36	12月19日	四国中央市立上分小学校	64
37	1月9日	松山東雲女子大学 (松山市)	29
38	1月10日	松山東雲女子大学 (松山市)	30
39	1月11日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	74
40	1月30日	川之江ふれあい交流センター (四国中央市)	29
41	2月11日	ウェルピア伊予 (伊予市)	200
42	2月17日	山路白鳩つどいの広場 (今治市)	50
43	2月25日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法等講習室	16
	3月19日	松山市シルバー人材センター	中止
	3月21日	平井保育園 (松山市)	中止
	3月28日	生石保育園 (松山市)	中止
合 計			2,345

## 6. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的諸活動を通じて、社会のために役立ちたいという善意の人々が集まって組織された団体であり、地域あるいは職域の実践団体として身近な奉仕活動を行い、地域住民の福祉につながる社業の推進に大きな役割を果たしています。

当支部では、赤十字奉仕団愛媛県支部委員会と連携を取り、モデル奉仕団の指定、赤十字奉仕団活動用物品助成金、東予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会開催等により赤十字奉仕団の普及育成に努めました。また、青少年赤十字メンバーや学生赤十字奉仕団員のOB・OGによって構成されている個人ボランティアの登録者数は16名も、引き続き活動に取り組んでいます。

結成状況及び事業概要は次のとおりであります。

### (1) 結成状況

種 別	団 数	人 数
地域赤十字奉仕団	55	13,092
青年(学生)赤十字奉仕団	6	159
特殊赤十字奉仕団	3	296
合 計	64	13,547



#### ①地域赤十字奉仕団

奉仕団名	備考
------	----

奉仕団名	備考
------	----

市	松山市		2団
	内訳	松山市	
		松山市北条	
	今治市		11団
	内訳	今治市今治	休団中
		今治市玉川	
		今治市波方	
		今治市大西	
		今治市菊間	
		今治市吉海	
		今治市宮窪	
		今治市伯方	
		今治市上浦	
		今治市大三島	
		今治市関前	
	宇和島市		4団
	内訳	宇和島市宇和島	
		宇和島市吉田	
		宇和島市三間	
		宇和島市津島	
	八幡浜市		1団
	内訳	八幡浜市・八幡浜保内	
	新居浜市		1団
	内訳	新居浜市	
	西条市		3団
	内訳	西条市西条	
		西条市東予	
		西条市周桑	
	大洲市		2団
	内訳	大洲市大洲	
		大洲市肱川	
	伊予市		1団
	内訳	伊予市	
	四国中央市		3団
	内訳	四国中央市川之江	
		四国中央市伊予三島	
		四国中央市新宮	

市	西予市		5団
	内訳	西予市明浜	休団中
		西予市宇和	
		西予市野村	
		西予市城川	休団中
		西予市三瓶	
	東温市		1団
	内訳	東温市	
	上島町		4団
	内訳	上島町魚島	
		上島町弓削	
		上島町生名	
		上島町岩城	
上 浮 穴	久万高原町		4団
	内訳	久万高原町久万	
		久万高原町面河	
		久万高原町美川	
		久万高原町柳谷	
	松前町		1団
	内訳	松前町	
	砥部町		1団
	内訳	砥部町	
	内子町		1団
喜 多	内訳	内子町	
	伊方町		3団
	内訳	伊方町伊方	
		伊方町瀬戸	
		伊方町三崎	
	松野町		1団
	内訳	松野町	
	鬼北町		1団
	内訳	鬼北町	
	愛南町		5団
南 宇 和	内訳	愛南町内海	休団中
		愛南町御荘	
		愛南町城辺	
		愛南町一本松	
		愛南町西海	
			休団中

## ②青年(学生)赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
青年・学生	愛媛大学	
	松山大学	
	聖カタリナ大学	
	愛媛県立医療技術大学	
	松山東雲女子大学	休団中
	愛媛県青年	休団中

## ③特殊赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
特殊	愛媛県アマチュア無線	
	愛媛県安全	
	愛媛県青少年赤十字賛助	



## (2) 事業概要

### ①本社主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団中央委員会	5月30日～31日	東京都 本社	1
HIV/AIDS ヒア・リーダー養成研修会 (青年奉仕団)	6月29日～30日	京都府 あうる京北	1
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 ・総会	7月9日～10日	東京都 本社	1 (副委員長 代理出席)
赤十字ボランティア・リーダー研修会 (地域・青年奉仕団)	8月24日～26日	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター	2
赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月6日	東京都 本社	欠席
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会・ 第2回役員会	2月20日～21日	福島県 福島市	中止

### ②ブロック主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
第5ブロック青年赤十字奉仕団 連絡協議会代表者会議	6月1日～2日	愛媛県 松山市	39
第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	8月23日～25日	鳥取県 鳥取市	3
第5ブロック青少年赤十字賛助奉仕団 連絡協議会・研修会	10月10日～11日	徳島県 徳島市	2
第5ブロック赤十字奉仕団研修会	11月14日～15日	島根県 松江市	3

### ③支部主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団県支部委員会	4月24日	日赤愛媛県支部	21
赤十字奉仕団委員長会議・研修会	4月24日	日赤愛媛県支部	53
安全赤十字奉仕団総会	6月8日	日赤愛媛県支部	80
青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月9日	松山市 愛媛文教会館	31
青年赤十字奉仕団連絡協議会総会・研修会	6月15日	日赤愛媛県支部 研修室	40
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月16日	松山市 えひめ青少年ふれあいセンター	193
愛媛マラソン救護ボランティア	2月9日	松山市	27
赤十字奉仕団愛媛県支部委員会・役員会	2月10日	日赤愛媛県支部	11
東予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会	2月17日	今治市中央公民館	60
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	6,816

## 7. 青少年赤十字

青少年赤十字は、児童・生徒が世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校・保育所(園)・幼稚園に組織され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3項目を実践目標に活動しています。

当支部では、愛媛県教育委員会及び愛媛県青少年赤十字指導者協議会等と連携し、指導者講習会、高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター、研究会等を実施するとともに、「愛媛県青少年赤十字だより」を発行し、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」児童・生徒の育成に努めています。

また、青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び「ぼうさいまちがいがし きけんはっけん！」の普及にも取り組んでいます。

加盟状況及び事業概要は次のとおりであります。



### (1) 加盟状況

元年度 新加盟校 8校(幼4・小2・中2)

※ ◎印は新加盟、○印は再加盟、無印は継続加盟

市町別	校数	校種	学 校 名				
四国中央市	12	幼	愛 和	緑ヶ丘			
		小	川之江	金生第一	上 分	妻 鳥	松 柏
			三 島	中曾根	中之庄	寒 川	
		中	三島西				
新 居 浜 市	11	幼	ひかり				

		小	金 子 泉 川	高 津	惣 開	垣 生	神 郷
		中	西	泉 川	◎ 中 萩		
		高	新居浜西				
西 条 市	10	保	東予南	東予中央	中川さくら	めぐみ	
		幼	東予南	めぐみ			
		小	三 芳	中 川			
		中	西条北				
		高	西 条				
今 治 市	44	保	白 鳩				
		幼	しまなみの杜	晴 心	空と海		
		小	吹 揚	別 宮	常 盤	近 見	立 花
			桜 井	富 田	清 水	日 高	乃 万
			波止浜	鳥 生	国 分	朝 倉	鴨 部
			九 和	波 方	大 西	亀 岡	菊 間
			吉 海	宮 窪	○ 伯 方	上 浦	大三島
		中	日 吉	近 見	立 花	桜 井	南
			西	北 郷	朝 倉	玉 川	大 西
			菊 間	大 島	伯 方	大三島	関 前
上 島 町	7	小	魚 島	弓 削	生 名	岩 城	
		中	魚 島	弓 削	岩 城		
松 山 市	84	保	生 石	堀 江	もものはな	えひめ乳児	こどものく に
			ひよこ	虹のそら			
		幼	愛大附属	坂 本	愛 媛	愛媛星岡	さくら
			花 園	大 護	道後聖母	◎ 久 枝	番 町
			◎ 梅 花	◎ 潮 見	松山星岡	桃 山	コイノニア
		小	愛大附属	番 町	味 酒	八 坂	東 雲
			新 玉	雄 郡	素 鷲	清 水	堀 江
			潮 見	久 枝	和 気	三津浜	宮 前
			高 浜	味 生	桑 原	生 石	久 米
			道 後	湯 築	余 土	湯 山	伊 台
			小 野	たちばな	椿	北久米	味生第二
			さくら	みどり	福 音	姫 山	浅 海
			難 波	立 岩	正 岡	北 条	河 野
			栗 井	中 島			
		中	雄 新	鴨 川	内 宮	津 田	余 土
			久 米	南	北条北	北条南	中 島
			松山東雲				
		高	愛大附属	北 条	松山東	松山南	松山商業
			松山工業	新 田	松山聖陵	松山東雲	
東 温 市	21	保	南吉井	双 葉	拝 志	南吉井第二	川 内
			上 林				
		幼	重 信	北吉井	川 上	東 谷	西 谷
		小	北吉井	南吉井	拝 志	上 林	川 上
			東 谷	西 谷			
		中	重 信	川 内			
伊 予 市	12	小	南山崎	北山崎	郡 中	伊 予	中 山
			佐礼谷	下 灘	由 並	翠	

		中	港 南	中 山	双 海		
松 前 町	5	幼	エンゼル				
		小	北伊予	岡 田	松 前		
		高	伊 予				
砥 部 町	5	小	麻 生	宮 内	砥 部	広 田	
		中	砥 部				
久万高原町	12	幼	仕七川				
		小	明 神	久 万	畑野川	直 瀬	父二峰
			面 河	仕七川	美 川	柳 谷	
		中	久 万	美 川			
大 洲 市	19	保	大 洲	喜 多	栗 津	菅 田	新 谷
			南久米	肱 南	肱 北	徳 森	五 郎
			大 和	白 滝	長 浜	肱 川	
		幼	大 洲	○ 喜 多	平 野		
		小	栗 津				
		中	大洲東				
内 子 町	4	幼	内 子				
		小	石 畳	天 神	小 田		
八 幡 浜 市	10	小	松 蔭	白 浜	神 山	千 丈	日 土
			川 上	双 岩	喜須来	川之石	宮 内
伊 方 町	8	小	伊 方	九 町	三 机	大 久	三 崎
		中	伊 方	瀬 戸	三 崎		
西 予 市	23	保	西予市俵津	宇 和	西予市野村		
		幼	野 村	惣 川	三 瓶		
		小	明 浜	多 田	中 川	石 城	宇和町
			皆 田	田之筋	野 村	大野ヶ原	惣 川
			城 川	三 瓶			
		中	明 浜	宇 和	野 村	城 川	三 瓶
宇 和 島 市	14	幼	伊 吹	村 井			
		小	明 倫	宇和津	鶴 島	天 神	○ 和 靈
			住 吉	高 光	成 妙	三 間	二 名
		中	○ 城 南				
松 野 町	3	小	松野東	松野西			
		中	松 野				
鬼 北 町	3	小	好 藤	三 島	近 永		
愛 南 町	25	保	家 串	柏	御 荘	長 月	長 崎
			はまゆう乳児	城 辺	緑	一本松	船 越
		小	家 串	柏	平 城	長 月	城 辺
			緑	僧 都	久 良	一本松	篠 山
			福 浦	船 越			
		中	御 荘	城 辺	篠 山		



校 種	校(所・園)数	メンバー数
保 育 所	45	3, 166
幼 稚 園	39	5, 514
小 学 校	178	49, 047



中 学 校	56	14,331
高 等 学 校	14	1,557
計	332	73,615

## (2) 事業概要

### ①本社主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成 講習会	5月24日～26日	東京都 国立オリンピック 記念青少年総合センター	1
青少年赤十字全国指導者協議会総会・ 研修会	6月24日～25日	東京都 本社	1
青少年赤十字指導者中央講習会	11月23日	東京都 本社	1
青少年赤十字指導主事研究会	1月9日	東京都 本社	2
青少年赤十字高校生スタディ・センター	3月22日～26日	山梨県 東照館	中止

### ②ブロック主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
第5ブロック青少年赤十字指導者 協議会長及び事務担当者会議	10月18日～19日	愛媛県 松山市	20

### ③支部主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
愛媛県青少年赤十字指導者協議会 総会・研修会	4月26日	日赤愛媛県支部	25
第1回青少年赤十字常任委員会	5月18日	日赤愛媛県支部	17
青少年赤十字高等学校指導者協議会	5月25日	日赤愛媛県支部	9
第1回高等学校青少年赤十字協議会	5月25日	日赤愛媛県支部	62
青少年赤十字指導者講習会	7月27日～28日	松山市 えひめ青少年 ふれあいセンター	33
青少年赤十字高校生・中学生・小学生 合同トレーニング・センター	8月2日～4日	松山市 えひめ青少年 ふれあいセンター	39
第2回青少年赤十字常任委員会	8月27日	日赤愛媛県支部	19
第2回高等学校青少年赤十字協議会	10月19日	日赤愛媛県支部	39
第61回青少年赤十字研究会	11月1日	伊方町三崎小学校	83
青少年赤十字・赤十字奉仕団 愛媛県大会	11月16日	松山市 えひめ青少年 ふれあいセンター	196
第3回青少年赤十字常任委員会	2月15日	日赤愛媛県支部	21
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	6,816
愛媛県青少年赤十字だより	年1回	2,500部発行	

## 8. 保健福祉事業

地域の人々の健康と幸せのため、各種事業を実施いたしました。

### (1) 赤十字巡回健康講座

地域の方々の健康増進と、疾病の早期発見に役立つ知識の啓蒙・普及を図るため、医師やコメディカルによる講演・個別健康相談、看護師による生活指導、血圧測定、体脂肪測定、検尿等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。



	開催日	場所	演題	参加者数
1	7月16日	西条市東予 総合福祉センター	がんについて（予防と早期発見）	110
2	7月19日	伊方町三崎 保健福祉センター	尿のトラブルについて	62
3	7月24日	八幡浜市文化会館 （ゆめみかん）	アレルギーと皮膚の病気	73
4	9月20日	西予市野村 保健福祉センター	認知症予防について	51
5	9月25日	宇和島市 総合福祉センター	腰・膝の痛みについて	109
6	12月 5日	四国中央市 市民交流棟	尿のトラブルについて	45

7	2月 4日	新居浜市 総合福祉センター	健康を守る食生活	60
合 計				510

## (2) ひだまり赤十字



高齢者の健康と自立した生活を地域で支えあうことを目指して、ストレッチ体操、レクリエーション、血圧測定、介護相談等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

	月 日	場 所	参加者数
1	7月 9日	新居浜市金栄公民館	56
合 計			56

## (3) んくもり子育て広場



乳幼児の子育て家族を支援するために、地域における昔遊びでの交流、地域の希望に合わせた講話と、幼児安全法のミニ講習、情報交換等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

	開催日	場所	演題	参加者数
1	6月14日	鬼北町子育て支援センター ゆめぽっけ	子どもの虫歯予防 幼児安全法短期講習	17
2	10月 8日	松野町 松丸保育園 地域子育て支援センター	だっこでステップ 幼児安全法短期講習	29
3	11月14日	四国中央市 みしま児童センター	だっこでステップ 幼児安全法短期講習	36
合 計				82

#### (4) 手つなぎ防災ひろば

地域赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校、地区・分区及び日本赤十字社愛媛県支部が協働し、防災講座、非常食の炊き出し、応急手当等を体験しました。

この活動を通じて、異なる世代の交流を図るとともに、地域内の連携強化し、助け合うことの大切さを学びました。

実施状況は次のとおりであります。

	奉仕団及び加盟校	月 日	場 所	参加者数	参加者数
1	鬼北町赤十字奉仕団 鬼北町立愛治小学校	9 月 29 日	愛治公民館	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	5 0 0 5 21 88 1 120
2	宇和島市津島赤十字奉仕団 宇和島市立岩松小学校	10 月 15 日	津島やすらぎの里	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	13 0 0 6 21 31 1 72
3	今治市吉海赤十字奉仕団 今治市立吉海小学校	10 月 7 日	今治市立 吉海小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	20 18 3 10 0 0 1 52
4	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島東中学校	10 月 10 日	四国中央市立 三島東中学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他	5 0 0 2 0 34

				支部 計	1 42
5	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立松柏小学校	11 月 5 日	松柏公民館	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	4 51 5 2 0 0 1 63
6	伊方町伊方赤十字奉仕団 伊方町立九町小学校	11 月 25 日	伊方町立 九町小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	7 51 12 3 0 0 1 74
7	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立寒川小学校	12 月 3 日	四国中央市立 寒川小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	3 54 4 14 6 0 1 82
8	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島小学校	12 月 9 日	四国中央市立 三島小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	10 46 7 2 4 0 1 70
9	四国中央市 川之江赤十字奉仕団 四国中央市立上分小学校	12 月 19 日	四国中央市立 上分小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	9 36 7 4 8 0 1 65
合 計					640





## (5) 赤十字健康大学



長寿社会に向けた健康管理意識の普及・向上と、赤十字事業を広く理解していただくことを目的に松山赤十字病院との共催により、2019 年度は「健やかに生きるための健康学」をメインテーマとして、医師が講演を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

開講日	演 題	参加者数
9 月 21 日	認知症について	197
10 月 26 日	腰・膝の痛みについて	178
11 月 16 日	難聴について	148
12 月 21 日	老化と皮膚の病気について	154
1 月 25 日	健康を守る食生活	136
2 月 15 日	がんについて（予防と早期発見）	134
合 計		947

## 9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界各地で発生している地震や干ばつ、洪水等自然災害や紛争などで苦しんでいる人々に対し、赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会及び各国赤十字・赤新月社と連携して、赤十字諸原則に基づき、救護・救援活動に取り組んでいます。

当支部では、これら日本赤十字社が行う国際活動の内、次の活動に参画しました。

### ○アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

近年、洪水やサイクロンなどの災害が近年世界的に増加し、安全な飲料水の供給や衛生状態の改善など、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。

日本赤十字社は、平成 23 年度から、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう「給水・衛生災害対応キット」を整備し、災害多発国又は地域に配備するとともに当該地域・国の赤十字社とともにスタッフの研修を行っています。災害発生時には要員を現地に派遣し、現地の赤十字社とともに給水・衛生活動を行います。日本赤十字社中国・四国 9 県支部はこれらの事業に対し、総額 700 万円(当支部負担 747,568 円)を援助しました。



## 10. 医療事業

大正2年に日本赤十字社愛媛支部病院（現 松山赤十字病院）を開設して以来、医療事業を継続してまいりました。松山赤十字病院は県内唯一の赤十字病院として、その特色を発揮するとともに、松山医療圏における地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら地域住民に安全・安心な医療を提供できるよう努めております。

平成26年度から新病院建設事業（1期～3期）を進めており、平成30年1月には1期工事に当たる北棟がオープンしました。

現在は、2期工事を施工しており、地下1階、地上10階建ての病棟部門を主とした南棟が令和2年12月に完成し、翌年3月にオープンする予定です。

また、令和元年10月には手術リスクの高い大動脈弁狭窄症（A S）の患者に対して経カテーテル大動脈弁留置術（T A V I）の提供を開始しました。このことにより、手術リスクが高いと考えられる患者に適した治療法を取り入れることができ、より質の高い医療が提供できるものと考えております。

【基本理念】 人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

- 【基本方針】
1. 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
  2. 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
  3. 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
  4. 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
  5. 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
  6. 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
  7. 健全経営の維持に努めます。

【病院概要】（令和元年度実績）

許可病床数 / 632 床

診療科目数 / 31 診療科

職 員 数 / 1,478 人（医師 203 人・看護師 744 人・その他 531 人）

患 者 数 / （外来）延患者数 390,523 人 ・ 1 日平均 1,627.2 人

（入院）延患者数 193,289 人 ・ 1 日平均 528.1 人

平成30年1月完成（北棟）



令和4年新病院完成予定



図1. 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)  
TAVI = Transcatheter Aortic Valve Implantation



## 11. 血液事業

当支部においては、昭和 40 年 3 月に愛媛県赤十字血液センターを開設し、病気やけが等で輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、愛媛県をはじめ市町関係機関及び県民の皆様のご理解・ご協力によって、血液製剤の安全性の向上と安定的な供給に努めております。

また、愛媛県では次代の献血を担う、若年層への献血啓発にも力を入れており、写真のようなイベントを多数実施しております。

【基本理念】 血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため 需要に応じた献血血液を安定的に確保し 安全性・品質向上に取り組み 献血者の皆様の想いを届けます  
献血者数は次のとおりであります。

献血種類	献血者数
200m L 全血献血	53 人
400m L 全血献血	37,489 人
血漿成分献血	8,808 人
血小板成分献血	4,958 人
合 計	51,308 人



血液センター親子体験教室



愛顔（えがお）の高校生献血推進会議



ハロウィン献血キャンペーン



クリスマス献血キャンペーン

## 12. 役 員

(令和2年4月1日現在)

役 名	氏 名	職 名
支 部 長	中村 時広	愛媛県知事
副 支 部 長	高橋 敏彦	愛媛県保健福祉部長
〃	石川 勝行	愛媛県市長会会長
〃	稲本 隆壽	愛媛県町村会長
監 査 委 員	北澤 剛	松山市副市長
〃	橋本 顕治	八幡浜市副市長
〃	水野 邦洋	公認会計士
地区選出評議員	福山 勝幸	松山市地域協働団体連絡会会長
〃	北川 敦史	松山市社会福祉担当部長兼福祉事務所長
〃	西市 裕二	松山市社会福祉協議会常務理事
〃	山本 勇	今治市連合自治会監事
〃	森田 悦子	今治市連合婦人会副会長
〃	宮本 直明	宇和島市自主防災組織連絡連絡協議会会長
〃	田渕 久子	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団委員長
〃	小野 正師	新居浜市社会福祉協議会会長
〃	伊藤 優子	新居浜市議会議員
〃	徳永 米子	西条市周桑赤十字奉仕団委員長
〃	二宮 賢一郎	大洲市肱川赤十字奉仕団委員長
〃	上岡 幸子	伊予市赤十字奉仕団監事
〃	石川 祐子	四国中央市伊予三島赤十字奉仕団委員長
〃	河野 敏雅	西予市社会福祉協議会長
〃	宮川 阪光	上島町社会福祉協議会会長
〃	高山 稔明	久万高原町副町長
〃	徳居 芳之	松前町副町長
〃	上田 文雄	砥部町副町長
〃	小野植 正久	内子町副町長
〃	濱松 爲俊	伊方町副町長
〃	中井 慶仁	松野町副町長
〃	井上 建司	鬼北町副町長
〃	岡田 敏弘	愛南町副町長
支部長選出評議員	大塚 岩男	愛媛県商工会議所連合会会頭
〃	河田 正道	愛媛県社会福祉協議会長
〃	清水 一郎	愛媛経済同友会代表幹事
〃	松尾 和久	愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 代 議 員	北澤 剛	松山市副市長
〃	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 理 事	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長

施 設 一 覧

施 設 名	所 在 地	電話番号
日 本 赤 十 字 社 愛 媛 県 支 部	〒790-0854 松山市岩崎町二丁目 3 番 40 号	089-921-8603 945-6792
松 山 赤 十 字 病 院	〒790-8524 松山市文京町 1 番地	089-924-1111
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町 80-1	089-973-0700
愛媛県赤十字血液センター 大 街 道 献 血 ル ー ム	〒790-0004 松山市大街道 1 丁目 4-17	089-932-0900